

矢向あけぼの保育園だより 9月号 2024年

まだまだ暑い日が続いていますが、風が少しずつ涼しく感じたり鈴虫の鳴き声が聞こえてきたりと季節が変わりつつあります。子どもたちは、まだまだプールや水遊びを楽しみたいと感じているようですが、涼しい日に散歩の活動も久保ツに行くと、「何してあそぶ?」「虫いるかな?」と友だちと楽しくおしゃべりしながら準備をすすめていました。子どもたちにとっては、季節が変わる、その時々のお遊びを見つけ、思いっきり楽しんで過ごしてもらいたいと思います。



・防災対策していますか? — 「引き取り訓練のご協力をお願いいたします。」

9月1日は防災の日となっています。『災害に対する認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化する。』とされ1959年に伊勢湾台風で甚大な被害があったことから翌年、災害に備える日として制定されました。矢向あけぼの保育園でも、9月は防災の意識を保護者と共に持ちたく、引き取り訓練を行いたいと思います。日頃から、お迎えに行く可能性のある保護者は、引き取りカードとお財布や携帯などを一緒にもって下さい。

最近では、南海トラフ地震の可能性が高まると騒がれたり、神奈川県西部が震源地になっている地震が発生しています。日本は、どこでも地震が起こる可能性のある島国です。そのことを踏まえて日頃から心構えの備えを専門家や自治体・国は発信していますが、私たちの意識や防災に対する知識はどうでしょうか? 家や職場などで起った場合は、訓練や対策などされている方が多いと思いますが、外出先となると想定していない場合があると思います。特に首都直下型地震の場合は、道路の液状化・老朽化によるビルなどの倒壊・繁華街では看板・窓ガラスの落下、ブロック塀の倒壊と普段気にしないで使用している道もたくさんあると思います。もし地震が起った場合は、道路の負担を減らす、群衆事故を避ける、帰らない迎えに行かないとされているようです。地震時の帰宅は多くのリスクがあると考えられているためです。救急車や消防車が交差点よく走れるよう車は左側に寄せ鍵をかけ、その場に車を置いて避難するばかりです。車や電車での移動はできないものと考えておいた方が良いでしょう。駅に人が殺到すると群衆の雪崩事故や余震による落下物の被害、火災に巻き込まれるなど、二次被害や三次被害に広がっていく事につながってしまうからです。今回、引き取り訓練をおこないますが、東京や遠方などにお勤めの方は、お迎えに行けない事も想定してみてください。

保育園では、毎月避難訓練を行い、災害に備えて対策も行っていますが、必ずしも災害は、保育園にいるときだけとは限りません。保護者の方々も送り迎え時に、使っている道の安全性など、考えてみる機会にしてみてください。

飯田 雅美